

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会開催時期 / 毎年6月
 基準日 / 毎年3月31日
 (その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日)
 利益配当金受領株主確定日 / 毎年3月31日
 (なお、中間配当を行うときの中間配当金受領株主確定日は9月30日)
 株主名簿管理人 / 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 / 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
 ☎0120-78-2031
 同 取 次 所 / 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
 公 告 方 法 / 電子公告
 単 元 株 式 数 / 100株
 株 式 店 頭 登 録 / 1997年8月1日 証券コード4558
 株 主 優 待 / 毎年3月31日現在の株主の皆様へ、ご所有株式数に応じ、
 自社取扱商品を5月下旬に発送いたします。



ご所有株式数	自社取扱商品
500株以上、1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上、5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

株式の名義書換、配当金のお支払い並びに諸届出等のお問い合わせは、上記株主名簿管理人の事務取扱場所並びに取次所
 でお取り扱いいたします。なお、「株式会社 証券保管振替機構」に預託されました株券についての諸届出及び手続等に関する
 お問い合わせは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

ホームページアドレス
www.chukyoiyakuhin.co.jp



第12回 2005中京医薬品クリスマスチャリティーコンサート

第 28 期 事 業 報 告 書

平成17年4月 1日
 ↓
 平成18年3月31日



株主の皆様へ

株式会社 中京医薬品
代表取締役社長

山田正行

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。ここに中京医薬品グループの第28期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）のご報告をするにあたり、株主の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

当期における我が国の経済は、引き続き原油高騰の不安要因があるものの全般的には企業収益が改善され、着実にデフレからの脱却が進行しており、日銀が量的金融緩和政策の解除を打ち出すなど、健全な経済活動への一步を踏み出そうとしています。こうした流れを受けて、個人消費につきましては厳冬による需要増も加わり順調な回復基調にあり、当社グループも中核事業であります配置販売業を中心に業績に反映されてきております。

さて、4月に発表されました世界保健機関（WHO）の2006年版「世界保健報告」によれば、2004年において平均寿命が世界一長い国としてモナコ、サンマリノとともに日本が82歳でランキングされています。また、いよいよ団塊の世代のリタイアが始まるタイミングでもあり、改めて健康と長寿に

ついて問われる時代が到来したといえるでしょう。当社グループは、創業以来「健康づくり、幸福づくり、人づくり」を经营理念に掲げ、配置販売業を中心とした「ふれあい業」を標榜しトータルライフケアのご提案をしております。それは、健康で生き甲斐のある暮らしづくりのお手伝いをする仕事、ともいえます。ただ長生きするのではなく、日々を楽しく、快適に過ごせるような“質”にこだわった健康づくりのパートナーこそが、当社グループの目指す姿といえます。

これからも、お客様一人一人とじっくりふれあいながら、健康づくりに求められる“質”にこだわった提案をさまざまな商品やサービスを通して展開していくことにより、業績の向上はもちろん、当社グループが社会に貢献できるものと確信いたしております。

株主の皆様におかれましても、当社グループの可能性にご期待いただき、さらに深いご理解とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

次のページより、当期の概況と来期の見通しについて、代表取締役社長 山田正行のインタビューを掲載しております。

目次

株主の皆様へ	2	連結財務諸表	13
決算ハイライト	5	個別財務諸表等	15
トピックス	7	株式の状況	17
株主還元の推移	9	会社の概要	18
株主アンケート結果報告	11		

第28期の概況

— 第28期を振り返り、企業グループ各事業の総括と、主だった動きはどのようなものであったか教えて下さい。

第28期を一言で表現すれば「経営基盤の強化に邁進した一年」といえるでしょう。当社グループの中核事業であります配置販売業においては営業所の新規出店を通年で4箇所にとどめ、既存店の充実に注力しました。当社グループが標榜する「ふれあい業」とは、まさにお客様一人一人との信頼関係の積み重ねです。そのため、営業力の前に人間力ありきの人材教育を大切にまいりました。一方で、綿密なマーケティングに基づき開発した新規商品の投入はもちろん、既存商品を見直し、有効成分を強化するなど、さらに付加価値の高い商品開発にも努めてまいりました。こうした取り組みの数々は顧客満足の向上という基本を徹底し、お客様により質の高い「健康」と「幸福」



をお届けしたいという企業活動の一環であります。また、新事業開発本部においては、生活流通、環境ソリューション、ミネラルウォーター宅配サービスの3事業を新事業部において一括管理するよう組織変更し、情報の共有による営業力の強化と効率の向上によって収益構造の確立を目指していきます。

— 決算の概況はいかがだったでしょうか。

当期における連結売上高は89億22百万円、経常利益は5億24百万円となりました。先にも述べましたように、当期は新規出店を抑えたため売上高は昨年対比3.0%増に留まりましたが、一方で新規出店に伴う経費が抑制され、また販売管理費も業務の見直しにより大幅に削減することができたため、売上高経常利益率が、連結ベースで昨年度の4.3%から5.9%に大幅に改善されました。その結果経常利益は昨年対比40.7%増と大幅な増加となりました。ただし当期は減損会計基準の導入で2億79百万円の減損損失を特別損失に計上したことにより、当期純利益は45百万円に留まりました。

第29期の抱負と見通し

— では、第29期をどのような一年にしたいとお考えですか。

第29期は、今期の経費削減により築き上げた強固な経営体質を基盤として、営業所の出店も積極的に進めてまいります。当社グループはかねてより、

株主の皆様との「ふれあい」を強化し、幅広くご支持いただける「株主づくり」に努めてまいりましたが、これからも企業のコンプライアンスを徹底し、透明性の高いIRを心がけてまいります。もちろん企業グループとして業績を高め、株主の皆様への積極的な還元にも努めてまいります。その一環として期首の4月には株式の流動性と利便性を高める意味から、単元株式の引下げと1割の株式分割を実施いたしました。また第30期は株式公開10周年、第31期は会社設立30周年、第32期は創業60周年と、当社グループにとりまして記念すべき時期が続きます。この重要なタイミングに向けて、更なる飛躍を期すため新たな中期計画を設定いたしました。



— Challenge2005に続く中期計画とは、どのような内容ですか。

新たな中期計画は「信親進2010」というテーマで、「信」は信頼・信用、「親」は親和・親切・親身、そして「進」は進歩・進化を表します。「お客様

の満足」と「社員の満足」をより高い次元で実現するために何をすべきかを示す行動指針のようなものといえます。数値目標としては今後の5年間で営業拠点を拡充し拠点数を140にしていく予定です。もちろん、国際貢献活動「きずなASSIST」を継続し、企業市民の一員としての使命を果たす所存であります。

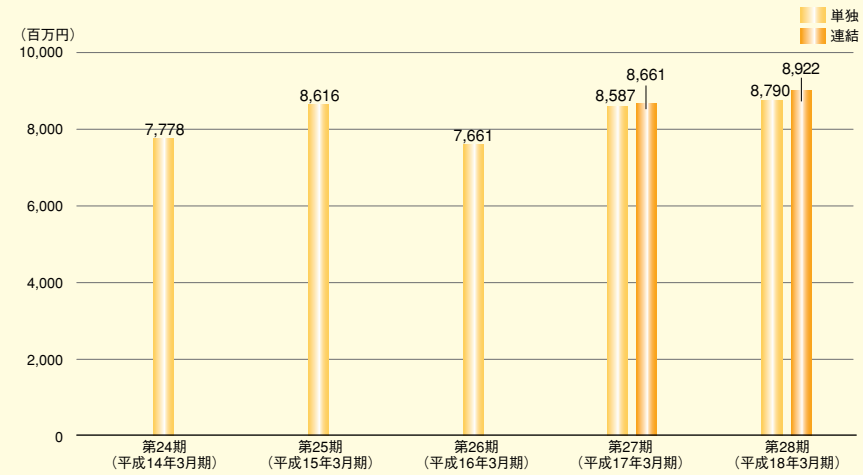


— では、最後に第29期の具体的な数値目標を教えてください。

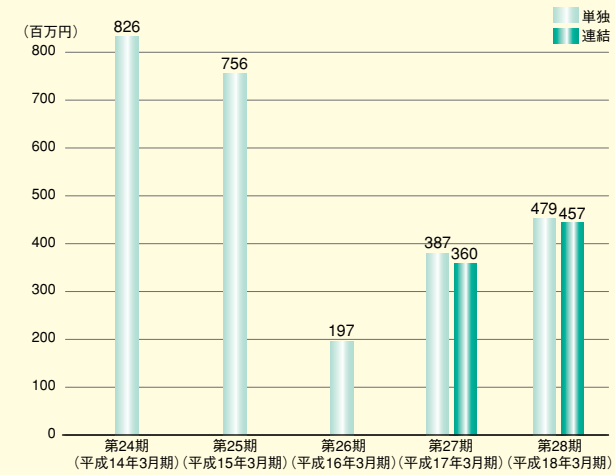
通期での連結業績目標は売上高91億31百万円、経常利益6億1百万円、当期純利益3億13百万円を見込んでおります。当社グループとしましては、第29期は第28期に強化した経営基盤の上にとっかかり立ち、配置販売業という基本にかえて社内マネジメントをさらに充実させ、社会情勢や消費動向に左右されることのない安定した収益体制を具現化してまいります。そして、これまで以上に顧客満足を追求し、広く社会から支持していただける存在になりたいと決意も新たにいたしております。

決算ハイライト

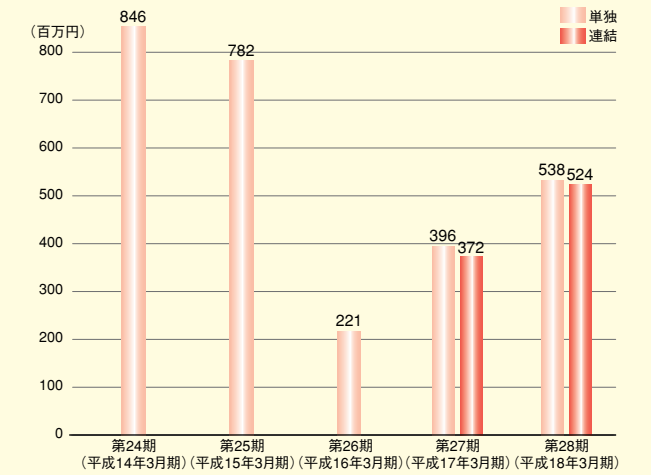
○売上高



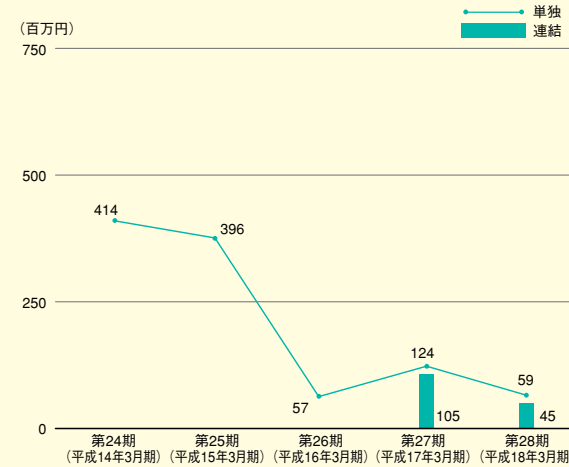
○営業利益



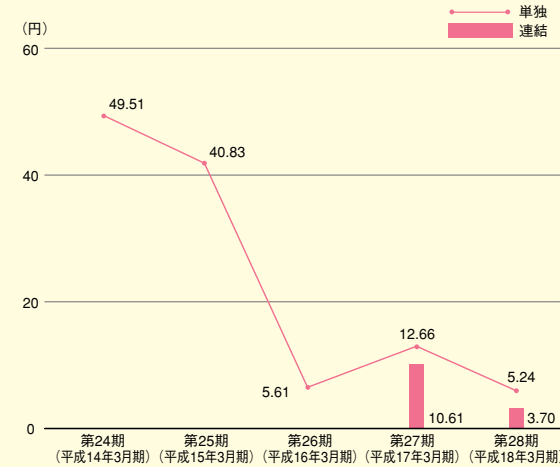
○経常利益



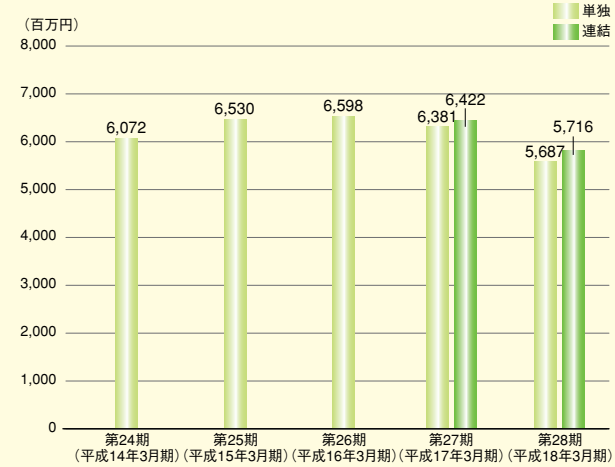
○当期純利益



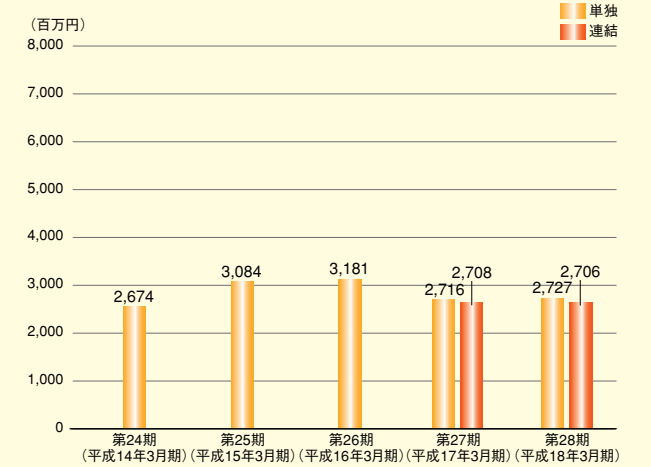
○1株当たり当期純利益



○総資産額



○純資産額



トピックス

1 楽天市場に ネットショッピングサイト 「イキイキ良品館」を オープン!

かねてより準備を進めていたインターネットショッピングサイト「イキイキ良品館」が平成17年11月にオープンいたしました。これは最大手の楽天市場に出店するもので、営業所などでも扱っているおなじみの健康食品から、人気商品のマサラ&グレイビービーフカレー、紀州南高梅などの一般食品、そして入浴剤などの生活商品と「医薬品会社がこだわった健康良品の専門店」をテーマにした品揃えです。商品は順次増やしていく予定ですので、是非一度ご利用下さい。



www.rakuten.co.jp/ikiiki-ryouhin/

2 第12回 2005中京医薬品 クリスマス チャリティーコンサート 開催!

今年で第12回を迎える「'05中京医薬品クリスマスチャリティーコンサート」が平成17年12月13日愛知県芸術劇場コンサートホールで開催されました。このコンサートは当社の国際貢献活動「きずなASSIST」の一環として毎年12月に行うもので、市民合唱団による「悠久の第九」をメインイベントに、会場では「きずなASSIST」の1年間の活動報告としてパネルを展示し、チャリティー募金のご協力もお願いしています。また収益金の一部は、世界の子供たちのために役立てられています。



3 平成18年2月21日 個人投資家向け 会社説明会を開催!

平成18年2月21日刈谷市民会館（愛知県刈谷市大手町2-25）において当社主催の個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。午後1:30～2:20の持ち時間の内、最初の20分間は当社の営業活動を紹介したビデオの放映、残りの30分間は当社社長が「中京医薬品の現状と将来」を中心とした講演を行いました。当日は100名程の来場者がお見えになり、当社の説明に熱心に聞き入っていただきました。今後とも定期的に当社への理解を深めていただくため、このような会社説明会を開催していきたいと思っております。



講演をする山田正行社長

4 新中期計画 「信親進2010」に決定!

第29期からの新中期計画が『信親進2010』希望と豊かさへの挑戦”と決定いたしました。これは当社が5年ごとに策定しているもので、いつもお客様と共に歩み続けながら、企業価値を高め、具体的な次の5つの目標を達成していくことを目指します。

- ①経営理念と方針の周知徹底
- ②顧客満足の追求
- ③モラルの向上とルールの厳守
- ④営業拠点の拡充(140拠点)
- ⑤社会貢献活動の推進

新ロゴマーク

信親進
2010

〈解説〉

信は信頼・信用の信、親は親和・親切・親身の親、進は進歩・進化の進を表しています。

株主還元の推移

◎ 株主還元の基本方針

株主の皆様への期待にお応えするため、積極的な事業活動により企業価値の向上を図る一方で、今後の収益、財務体質、事業投資への対応を勘案しつつ、成果配分重視の観点から株主還元施策に取り組んでまいります。配当に関しましては、安定的かつ継続的な配当の維持・向上を基本として、連結業績、中長期的な成長性、株主資本配当率（ODE）等を加味し総合的に判断して行う考えです。またそれに加えて株式分割に関しましては、一株当たり利益の増加等を鑑みながら機動的に実施し、還元水準の一層の向上に努めてまいります。

● 株式分割

平成11年5月	2割分割を実施
平成12年5月	5割分割を実施
平成13年5月	2割分割を実施
平成14年5月	1割分割を実施
平成15年5月	1割分割を実施
平成18年4月	1割分割を実施

● 配当金の推移（1株当たり）

平成10年3月期 (9月中間期含む)	10円 ^{※1}
平成11年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成12年3月期 (9月中間期含む)	10円 ^{※2}
平成13年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成14年3月期 (9月中間期含む)	7.5円 ^{※3}
平成15年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成16年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成17年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成18年3月期 (9月中間期含む)	5円

※1 株式公開記念配当金5円を含む
 ※2 創業50周年記念配当金5円を含む
 ※3 株式会社店頭公開50周年記念配当金2.5円を含む

● 株主優待

18年3月の例（3月末現在の株主）

500株以上	「花・香りの物語」 「日本の名泉めぐり」 (3,000円相当額)
1,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (5,000円相当額)
5,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (10,000円相当額)

17年3月の例（3月末現在の株主）

500株以上	紀州南高梅 (3,000円相当額)
1,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (5,000円相当額)
5,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (10,000円相当額)



【花・香りの物語】
 酵素と3つの保湿成分（紅茶エキス・オリーブ油・メタケイ酸Na）を配合した、お肌にやさしい入浴剤。その日の気分で選べる7種の花【サルビア・ユリ・ボタン・マリーゴールド・カモミール・ローズマリー・ラベンダー】の香りをセレクトしました。ハーブの香りに包まれる心地いいバスタイムをお楽しみ下さい。

【日本の名泉めぐり】
 日本各地から選んだ名湯【登別・道後・熱海・有馬・十和田・草津・湯布院】の温泉成分に近づけ、さらに温泉効果を高める酵素・カテキン（緑茶エキス）と3つの保湿成分（オリーブ油・トウキエキス・各生薬エキス）を配合。温泉気分に浸りながら、一週間、毎日違うお湯をお楽しみいただけます。



【マサラピーフ】
 通常15種類前後でブレンドされるカレースパイスを30種類ブレンドし独自のガラムマサラを作りあげました。薬屋さんの目利きで選んだ、漢方薬としても使われるスパイスの挽き立ての味をお楽しみください。お子様からお年寄りの方まで、きっとご満足いただけます。

【グレイビービーフ】
 一流シェフのレシピをもとに、漢方薬としても使われる各種のスパイスをふんだんにブレンドし、お肉の味を最大限に引き出しました。鉄板でローストした肉汁の旨味がぎゅっとつまった身体に優しく、おいしいカレーができました。是非、本格的な味を、ご家庭でご賞味下さい。



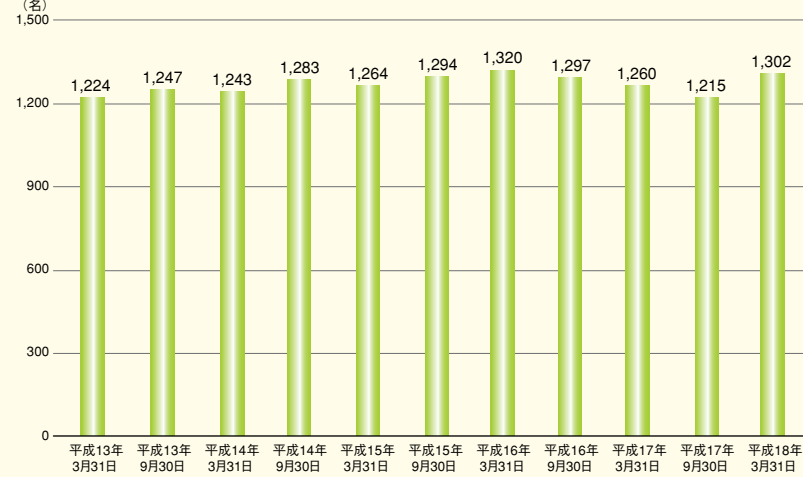
紀州南高梅
 澄んだ空気と清らかな水が流れる紀州田辺・南部。この地で親子代々受け継がれてきた腕利きの農家で育てられた紀州南高梅は、皮が薄く肉厚で果肉がとろけるほどに柔らかい上質の品種。その中でも粒よりの南高梅だけを厳選し、良質のはちみつを加えた中京医薬品の「紀州南高梅」は、お茶請けにも最適な食べやすさはもちろん、はちみつの成分が梅干しと相まって、お子様からお年寄りの方まで、ご家族の皆様のご健康維持に大変役立ちます。

株主アンケート結果報告

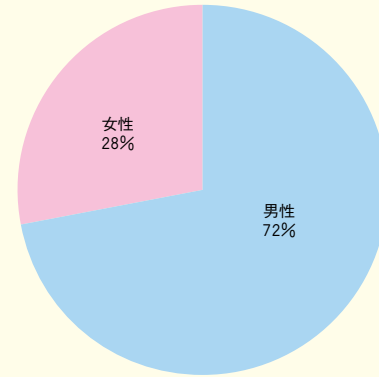
ご協力いただきありがとうございました。

株主の皆様とのコミュニケーションを深めるため、アンケートを実施しております。
2005年9月末の株主アンケートには127通(回答率10.45%)のご回答をいただきました。その集計結果の一部をご報告申し上げます。

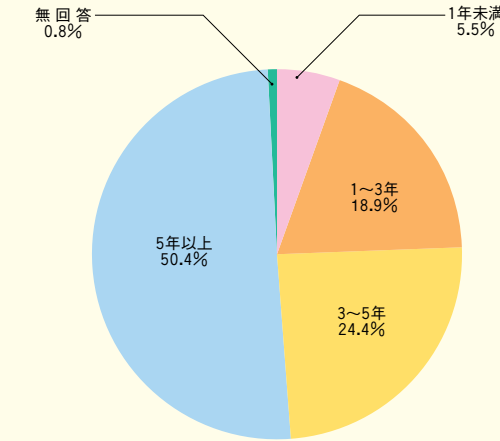
○株主数の推移



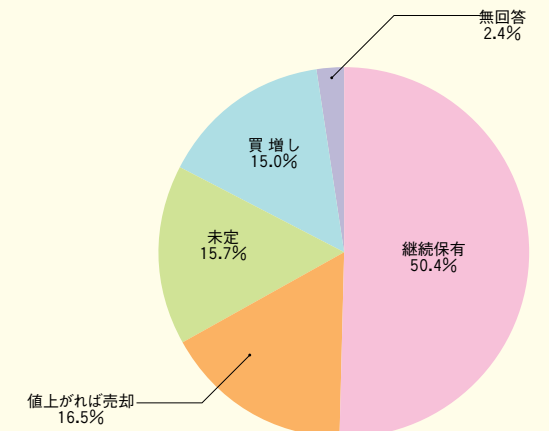
○性別構成比



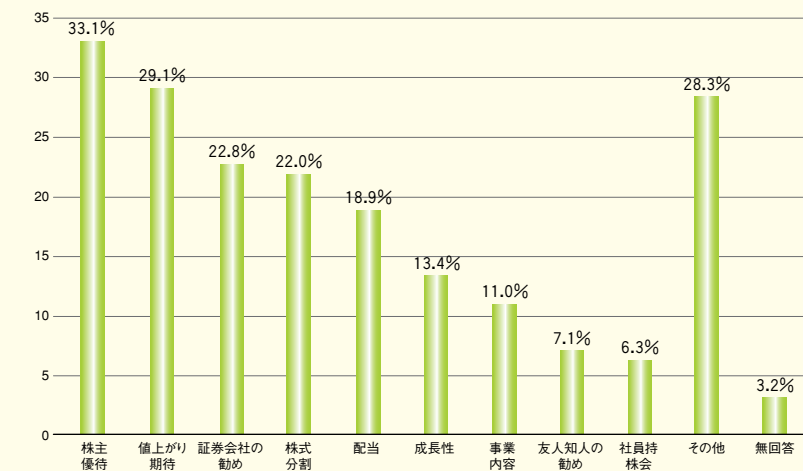
○株式保有期間



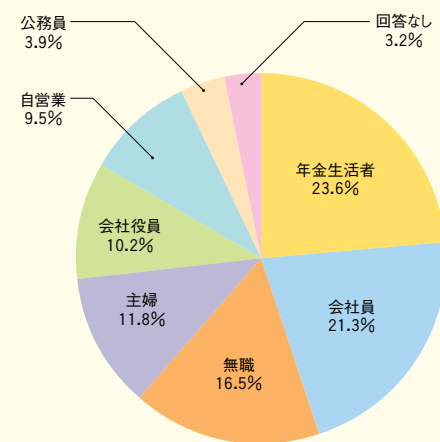
○株式保有方針



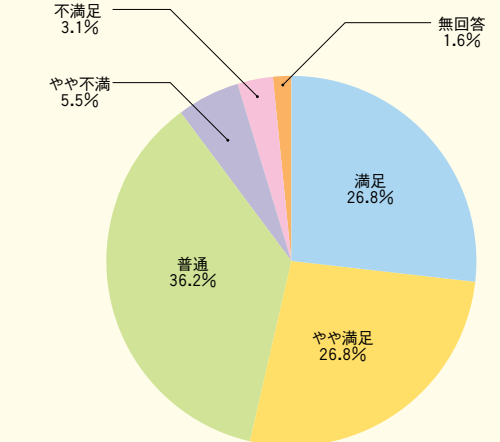
○株式購入理由(重複回答)



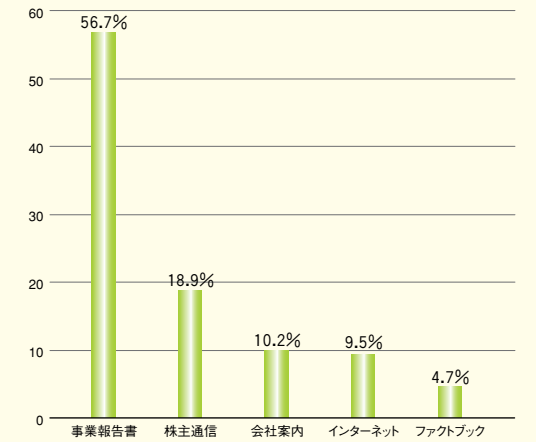
○職業別構成比



○株主優待満足度



○必要とするIRツール



連結財務諸表(要旨)

●連結貸借対照表

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,871,723	3,276,292
現金及び預金	785,891	1,089,638
受取手形及び売掛金	585,398	771,693
有価証券	—	1,744
たな卸資産	1,189,873	1,109,809
繰延税金資産	113,312	127,993
その他	202,095	186,294
貸倒引当金	△ 4,847	△ 10,880
固定資産	2,844,033	3,145,404
○有形固定資産	1,916,800	2,222,330
建物及び構築物	556,921	665,561
土地	1,339,223	1,541,857
その他	20,655	14,911
○無形固定資産	27,577	42,205
営業権	—	18,007
その他	27,577	24,198
○投資その他の資産	899,655	880,868
投資有価証券	395,092	415,075
長期貸付金	23,640	56,200
前払年金費用	70,998	55,167
その他	503,714	423,412
貸倒引当金	△ 93,790	△ 68,987
繰延資産	533	1,066
社債発行費	533	1,066
資産合計	5,716,290	6,422,764

(単位:千円)

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	2,440,647	2,902,632
支払手形及び買掛金	781,062	834,123
短期借入金	690,000	580,000
一年内返済予定長期借入金	137,509	161,093
一年内償還予定社債	69,000	419,000
未払金	80,609	120,445
未払費用	237,045	228,641
未払法人税等	101,536	111,624
前受金	46,434	149,703
賞与引当金	226,700	265,600
その他	70,749	32,402
固定負債	569,306	811,670
社債	187,000	256,000
長期借入金	233,223	372,724
繰延税金負債	22,954	72,906
退職給付引当金	120,897	103,208
その他	5,232	6,832
負債合計	3,009,953	3,714,303
(資本の部)		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,139	274,115
利益剰余金	2,242,380	2,247,335
その他有価証券評価差額金	194,916	185,161
為替換算調整勘定	9,148	8,370
自己株式	△ 545,199	△ 537,470
資本合計	2,706,336	2,708,461
負債及び資本合計	5,716,290	6,422,764

(単位:千円)

●連結損益計算書

科目	当期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
売上高	8,922,143	8,661,362
売上原価	3,470,780	3,214,372
売上総利益	5,451,362	5,446,989
販売費及び一般管理費	4,994,202	5,086,128
営業利益	457,160	360,860
○営業外収益	94,769	77,273
受取利息配当金	3,651	3,511
受取家賃	32,893	35,079
解約金	6,182	10,261
事故保険金	7,405	8,174
キャンペーン手数料	17,301	—
その他	27,334	20,248
○営業外費用	27,773	65,666
支払利息	18,520	30,808
支払手数料	5,282	10,166
借入金解約精算金	—	6,773
その他	3,970	17,918
経常利益	524,156	372,467
○特別利益	13,263	40,606
固定資産売却益	1,592	40,606
投資有価証券売却益	11,671	—
○特別損失	288,453	163,685
店舗閉鎖損	—	64,588
役員退職慰労金	—	63,190
水害損失	—	17,979
減損損失	279,641	—
その他	8,811	17,927
税金等調整前当期純利益	248,967	249,389
法人税、住民税及び事業税	245,649	196,152
法人税等調整額	△ 41,911	△ 51,955
当期純利益	45,228	105,192

(単位:千円)

●連結剰余金計算書

科目	当期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	274,115	274,115
資本剰余金増加高	24	—
資本剰余金期末残高	274,139	274,115
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	2,247,335	2,190,999
利益剰余金増加高	45,228	105,192
当期純利益	45,228	105,192
利益剰余金減少高	50,182	48,857
配当金	45,999	48,755
役員賞与	4,183	—
自己株式処分差損	—	101
利益剰余金期末残高	2,242,380	2,247,335

(単位:千円)

●連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,458	511,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	87,466	510,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 525,789	△ 720,957
現金及び現金同等物の増減額	△ 250,939	309,635
現金及び現金同等物の期首残高	895,496	585,861
現金及び現金同等物の期末残高	644,556	895,496

(単位:千円)

NEWS 1

単元株式数を100株に変更!

株式の流動性向上と投資家の皆様の利便性を高めるため当社は平成18年4月3日付をもって1単元の株式数を500株から100株に変更いたしました。

個別財務諸表(要旨)

●貸借対照表

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,812,281	3,208,522
固定資産	2,874,803	3,172,270
有形固定資産	1,914,237	2,217,172
無形固定資産	27,380	41,909
投資その他の資産	933,185	913,188
繰延資産	533	1,066
資産合計	5,687,617	6,381,858

●損益計算書

科目	当期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
売上高	8,790,384	8,587,902
売上原価	3,365,110	3,162,397
○売上総利益	5,425,274	5,425,504
販売費及び一般管理費	4,945,389	5,038,447
○営業外収益	479,884	387,056
営業外収益	85,858	74,397
営業外費用	27,462	64,684
○経常利益	538,280	396,769
特別利益	13,263	40,606
特別損失	288,453	173,685
○税引前当期純利益	263,091	263,690
○法人税、住民税及び事業税	245,509	194,896
○法人税等調整額	△ 41,801	△ 55,880
○当期純利益	59,383	124,674
○前期繰越利益	744,447	1,220,099
自己株式処分差損	-	101
中間配当額	22,989	23,031
○当期末処分利益	780,841	1,321,640

(単位:千円)

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	2,401,545	2,872,629
固定負債	558,228	792,637
負債合計	2,959,774	3,665,266
(資本の部)		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,139	274,115
利益剰余金	2,273,036	2,263,836
其他有価証券評価差額金	194,916	185,161
自己株式	△ 545,199	△ 537,470
資本合計	2,727,843	2,716,592
負債及び資本合計	5,687,617	6,381,858

(単位:千円)

NEWS 2

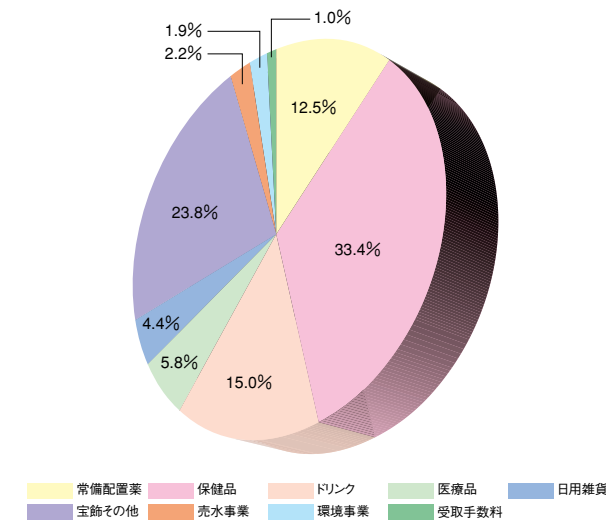
「きずなASSIST」のホームページをリニューアル!

当社が取り組む国際貢献活動「きずなASSIST」のホームページをリニューアルいたしました。今回は当社社員による海外ボランティア活動の中からスリランカとバングラディッシュでの活動の様子をレポートとして掲載しております。

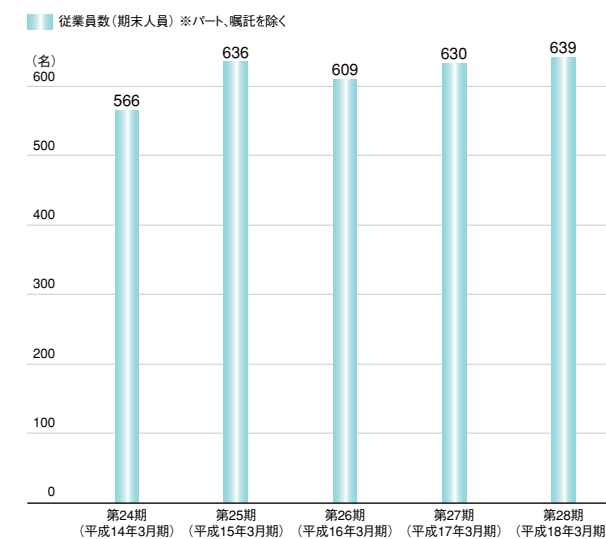


www.chukyoiyakuhin.co.jp/kigyuu/kizuna/

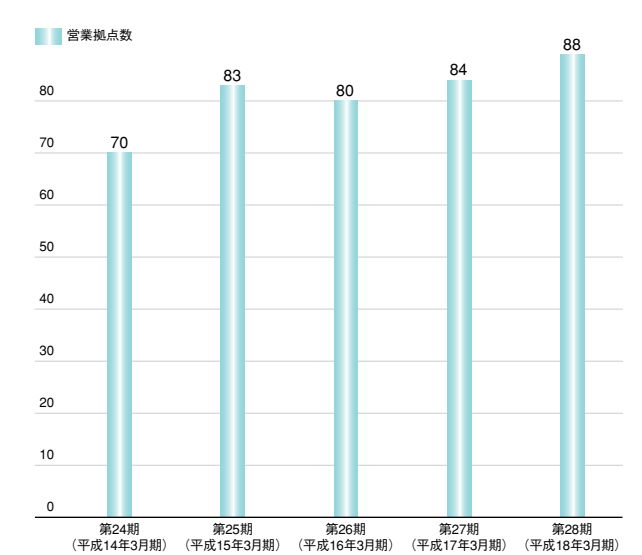
○商品別売上高構成比



○従業員数



○営業拠点数



NEWS 3

平成17年10月以降 2営業所を新たに新設

今期は配置販売業の新規出店は抑え気味で推移しましたが、下半期には滋賀県の米原市と香川県の高松市に営業所を新設いたしました。滋賀県へは初めての出店となります。これで上半期に出店した八幡営業所と宗像営業所を合わせて営業所は88箇所となりました。

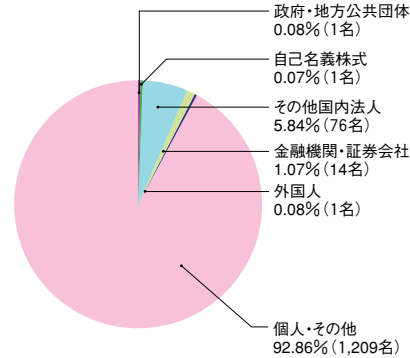
米原営業所 滋賀県米原市近江町世継1028番地9

高松営業所 香川県高松市木太町2024番地4

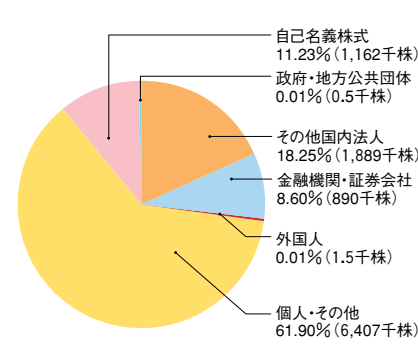
株式の状況 (平成18年3月31日現在)

- 1. 会社が発行する株式の総数 25,000,000株
- 2. 発行済株式の総数 10,350,668株
- 3. 株主数 1,302名

4. 所有者数別状況



5. 所有者株式数別状況

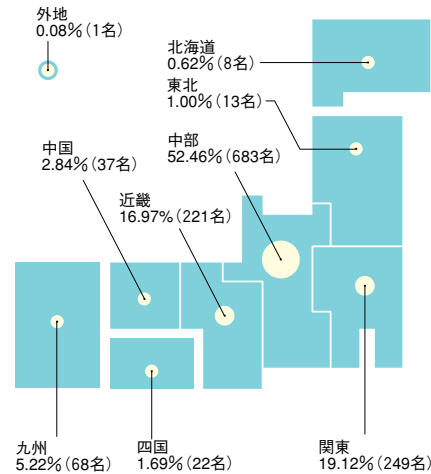


6. 大株主

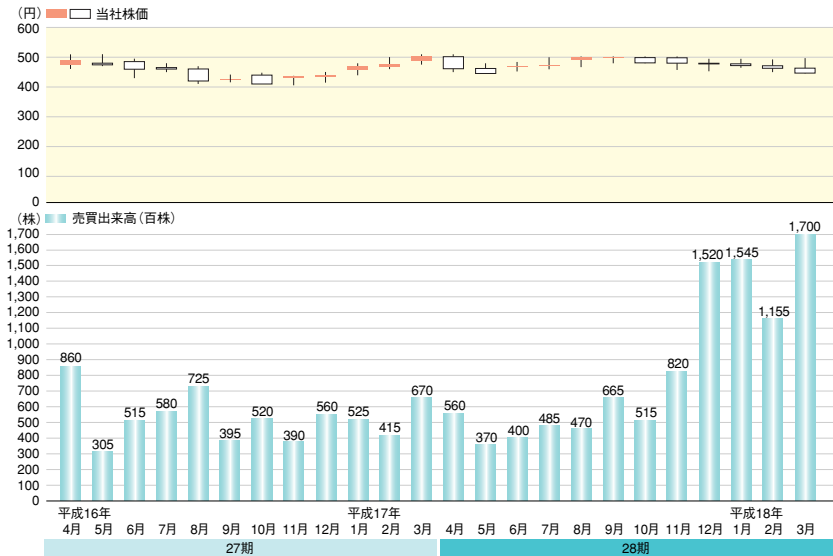
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
山田正行	1,239,260	12.0
山田幸男	1,013,806	9.8
有限会社ヤマショー	954,896	9.2
山田雄三	707,432	6.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	203,860	2.0
中京医薬品取引先持株会	186,837	1.8
山田重子	148,330	1.4
大商株式会社	145,000	1.4
山田由美子	130,680	1.3
中京医薬品従業員持株会	127,971	1.2

(注) 当社は自己株式1,162,765株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

7. 地域別分布状況



8. 株価の推移



会社の概要・役員・事業所

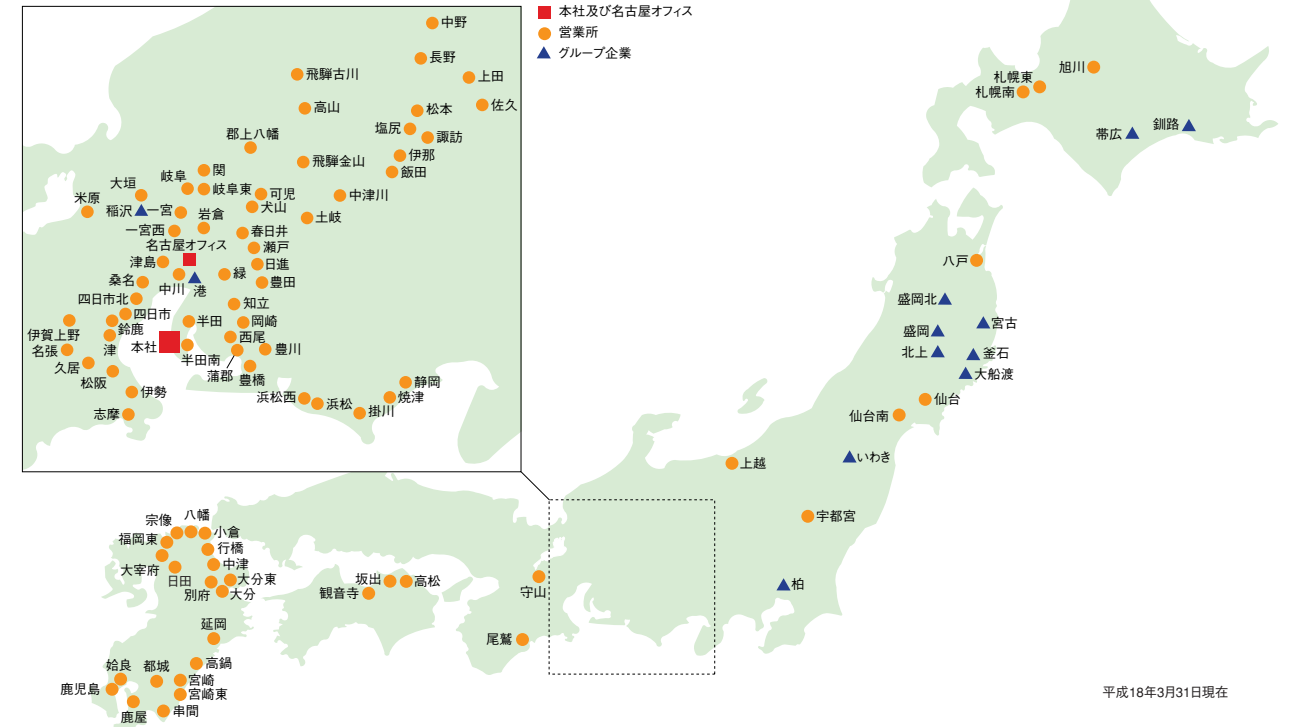
● 会社の概要

商号 / 株式会社中京医薬品
 所在地 / 愛知県半田市亀崎北浦町2-15-1
 創業 / 昭和24年
 設立 / 昭和53年
 資本金 / 5億3,095万円
 代表者 / 代表取締役社長 山田正行
 従業員数 / 741名 (嘱託・パート含む)
 事業内容 / 医薬品・医薬部外品・健康食品・清涼飲料水・医療機器・化粧品・日用品・衣料品・生保・損保・通販・宝飾品などの販売
 連結子会社 / 株式会社ユナイテッドデザイン
 株式会社中京医薬品コリア

● 役員 (平成18年6月27日現在)

代表取締役社長 / 山田正行
 専務取締役 / 山田雄三
 常務取締役 / 辻村誠
 取締役 / 山田幸男
 取締役 / 山本謙二
 取締役 / 松本好博
 取締役 / 金澤光二
 取締役 / 佐土原しづ子
 取締役 / 小澤千加
 取締役 / 秋本實
 取締役 / 長谷川了治
 取締役 / 沼田尚吾
 取締役 / 柘植信吾

● 事業所



平成18年3月31日現在